

NACS経済市民教育事例集

～授業案と報告書のまとめ集～

(社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
事業委員会学校教育グループ

2006年12月2日

※NACS講師派遣事業はビザ・インターナショナルの支援を受け
実施されています

目次

1. 都立高校連続講座

		平成18年度	ページ
①ライフイベントの経費	NACS講師	5月15日	1~2
②お金の賢い使い方	NACS講師	5月22日	3~4
③銀行と預金	NACS講師	5月29日	5~6
④クレジットカードⅠ	NACS講師	6月19日	7~8
⑤クレジットカードⅡ	NACS講師	6月29日	9~10
⑥支え合いの社会保険	NACS講師	7月10日	11~12

2. 私立女子中学校 経済市民教育講座

お金の賢い使い方	NACS講師	6月14日	13~14
----------	--------	-----------------	-------

経済市民教育テキスト② お金の賢い使い方

【授業計画】

テーマ： 自立した経済市民に向けて ～ライフイベントの経費～

対象： 東京都立高校 2年生20名

場所： 教室

日程： 平成18年5月15日(日)10:45 ～ 11:35

ねらい：①人生設計にお金を有効に使う ②お金は夢を実現するための大事なツール

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<p>○生きていくのにはお金がかかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人は生まれてから死ぬまでお金のお世話になる ・出産費用から葬式費用まで ・生活とお金は密接な関係 <p>○身近なお金は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おこづかい以外にもお金は必要 ・部活動にかかる費用 		テキスト①P.2～P3
展開 35分	<p>○今までにかかったお金はいくら？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校2年までの金額は？ <p>○今後にかかるお金はいくら？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後にかかる費用 ・進路によって金額が違う <p>○大まかな人生設計を考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳以降の人生のイベントは？ ・将来の夢は？ ・夢の実現に向かって努力していること <p>○貯金して夢に備えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢を支えるにはお金が必要 	<p>進学費用についての理解度 日米比較</p> <p>幾ら位かかるか知っているか？</p> <p>今後の進路から大まかな金額を 計算してみよう</p> <p>2～3名に発表してもらう</p> <p>アメリカの高校生は・・・</p>	<p>テキスト①P.1 日米アンケート テキスト①P.4</p> <p>ワークシート</p>
まとめ 5分	<p>○ライフイベントに備える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を計画的に使う、貯める <p>○お金を使いこなして夢を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備えあれば憂いなし <p>○お金について家族や友達と話そう</p>		<p>ワークシート やってみたいこと 避けたいことを考えてみよう</p>

授業「ライフイベントの経費」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

ライフイベントのフリップを作成し、黒板の左側から生まれたときから順番に張っていったのが、生徒に理解しやすかった。

② 反省点や改善策

高校2年生までにかかったお金の計算をしてもらったが、自分たちにお金がかかっていないという認識しかなく計算が出来ない生徒がいた。お金はアルバイトで稼げるので、必要に応じてアルバイトをすればいいという意識があり、何かの目標を立ててそれに対して働くという意識が低い。お金は何のために必要なのかと言うことをもっと伝えたい。

2. 先生からのご意見・助言

はじめて集まったメンバーでしたので緊張気味でした。自分の夢をお金に換算した経験がこれからの生活にどのように活かされていくのが楽しみです。

3. 生徒の反応について

<講座の理解度> よく理解できた(5) まあ理解できた(11) あまり理解できなかった(1)

<講座の中で印象に残ったこと>

- ・自分の人生設計を考えて費用を計算した時、すごい費用がかかるのにびっくりした。
- ・誕生してからどれくらいするのか?とライフイベントはどれくらいあるかが印象的だった
- ・人の一生にかかる費用はいくらか(3)
- ・意外とたくさんお金がかかるなと思った(2)
- ・今親がお金を出しているわけだから、親になるってとても大変だと思った
- ・自分の人生ですごくお金がかかるんだなあと思った。がんばって働いて稼ごうと思った。
- ・最後のライフプラン
- ・いろいろ必要なものがあるということがわかった
- ・学校の費用のこと
- ・生きていく上で必要なもの
- ・ゆとりのある老後生活ができるのが9600万だということにおどろいた

<自分にとって参考になったことはどんなことですか>

- ・自分が生活をするために、およその費用がわかったこと(3)
- ・生きていくのにお金がどのくらいかかる事
- ・何をすることもお金は必要
- ・生きていくにはお金がかかる!のパンフレットが参考になった。分かりやすかった
- ・すごくお金がかかるって思った
- ・生活のうえで大切な事がわかった
- ・お葬式ってあんなにお金がかかるんだなあと思った
- ・この先、どのくらいお金がかかるのかがわかったので将来に役立つと思う
- ・結婚費用や出産費用
- ・車の免許
- ・学校とかの費用

経済市民教育テキスト② お金の賢い使い方

【授業計画】

テーマ： 自立した経済市民に向けて～お金の賢い使い方

対象： 東京都立高校 2年生1クラス 20名

場所： 教室

日程： 平成18年5月22日(月)10:45～11:35

ねらい：①お金の3つの使いみちを知る。②ものを買うときの意思決定プロセスを身に付ける③予算立て

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<p>○なぜ今お金の使い方を学ぶのか</p> <p>・失敗した買い物の経験は?</p> <p>・クレジット、多重債務、自己破産 →最低限の知識、金融情報の判断力が必要</p> <p>○始めの一步・・・お金の「賢い」使い方を考えよう</p> <p>○お金の使い方は3つあるー3つのSとは</p>	<p>失敗した経験を振り返ろう</p> <p>個人破産件数増加のグラフ</p> <p>お金の使いみちを問う→Spend Save, Shareに分ける</p>	<p>テキスト⑤P.1</p> <p>テキスト②P.1</p>
展開 I 35分	<p>○そもそもお金とは労働の対価である</p> <p>・こづかいは誰の労働の対価か</p> <p>○収入=支出が基本</p> <p>○何をかうか。(10分)</p> <p>～広告に踊らされてないか</p> <p>～借金なのか、貯金なのか</p> <p>○どうかうか。(意思決定プログラム)(10分)</p> <p>○お金で測れない価値もある</p> <p>○貯金して夢に備えよう</p> <p>○シェアの考え方</p> <p>・ギフト、寄付、100円の価値</p> <p>・社会保障制度につながる考え方</p>	<p>こづかいに対する考え方 日米比較</p> <p>欲しいもののフリップの中から 買いたいものを選ぶ(男女2名)</p> <p>ヴァレンタインのチョコレート例 チョコレートのグラフ</p> <p>たとえば、スノボだったら・・・ ワーク2を配布 各自、記入 2～3名に発表してもらう。</p> <p>車が必要なら・・・ 免許、自動車代、付帯費用、 任意保険、駐車場代</p>	<p>日米アンケート</p> <p>フリップ多数</p> <p>指導書グラフ</p> <p>テキスト②P.2 ワーク2</p> <p>指導書「大人への道」</p>
まとめ 5分	<p>○賢いお金の3つの使いみちの共通点 よく考えてお金を計画的に使うー満足感を得る</p> <p>○予算を立てよう</p> <p>・項目を立て、3つのSに分ける</p> <p>・金額を決めるためには、1ヶ月の記録が必要</p> <p>○収支を振り返ろう</p> <p>・自分の支出の傾向</p> <p>○大きな満足のいくお金の賢い使い方をしよう</p>	<p>3つのSのどれ? クイズ こづかい帳の活用</p>	<p>クイズ ワーク</p>

授業「お金の賢い使い方」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

・収入=支出となるよう欲しいものに優先順位をつけてやりくりすることを意識づけるために、2名に1万円以内になるようフリップを選択してもらった。・さらに収入が半減したら、何をあきらめるか、フリップで確認することで、自分にとって大切なものがはっきりしてくること、他人とは価値観が違うので支出の中身が異なることを認識させた。
・借金すると返済がのしかかることもフリップで模式的に説明。
・ワークシート②で買い方の選択肢を考えてもらったので、選択肢のプラス面、マイナス面を各自しっかり考えて記入できた。買うときにも、単にぱっと買ってしまおうのではなくて、いろいろな考え方ができることは分かってもらえたと思われる。

② 反省点や改善策

・ほとんどの生徒はアルバイト代で月5~6万円の収入があることを事前に知らなかった。欲しいもののフリップは合計で1万円になるよう選んでもらう予定だったので、フリップの金額と実際の金銭感覚が異なってしまった。あらかじめ先生と打ち合わせておけばよかったと思う。その上で、1万円以内で取舍選択する練習であると割り切れれば良いと思った。
・最後に3つのSに分けておよその予算立てまでさせれば、より具体的に支出のイメージがつかめたと思う。まとめは、言葉ではなくワークをやらせても良かった。今後の課題である。

2. 先生からのご意見・助言

ゲームなど興味をもたせ、実生活に結び付けて考える時間を持てたようでした。ひと月平均5万円という可処分所得のある彼らは、それに対して漠然としたイメージしか持っていなかったと思います。これでなんとなく、このまま生きていける感覚を得ています。(フリーターにそうしてなっていくと思いますが)。現在いくら貯金ができ、さらにはSHAREするまで行動が発展するといいと思いました。

3. 生徒の反応について

ここには生徒の反応等に加え、アンケートの集計やまとめを記載してください

・お金を貯めたほうがいいんだなって思った。
・貯金はしよう!!
・SAVEするとよいことがある。
・少しずつでもいいからお金を貯める
・貯めるのは大事だって言うこと。あと、寄付をしようと思った。ムダ使いはしないようにしようと思った
・あまったお金を募金することでたくさんの命が救えることを知った。
・人や社会のためにお金を使うこと。ささいな数でも募金すれば世界の人助かるのなら、これからもたまに募金しようと思った。
・今までかまわずバカみたいに使ってたけど、ちょっと計画立ててやろうかな??と思った
・計画を立ててきちんと使う。
・計画的にお金を使うために収入、支出をノートに書く

経済市民教育テキスト③ 銀行と預金

【授業計画】

テーマ： 自立した経済市民に向けて ～銀行と預金～

対象： 東京都立高校 2年生18名

場所： 教室

日程： 平成18年5月29日(月)10:45 ～11:35

ねらい：①銀行の役割 ②銀行をどう選ぶ ③金融ビックバンと銀行との付き合い方

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ そもそもお金って何? ・ 物々交換ではない、貨幣の役割と特徴 ・ 貨幣だからできること⇒蓄えること ○ お金を取り扱う会社⇒銀行 ○ どうしてその銀行を選んだか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貨幣は価値の尺度 ・ 貨幣は価値の貯蔵ができる ・ 自分が利用している銀行を発言させる 	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利息とは?金利とは?手数料とは? ○ 自分にとって良い銀行とは? ○ 私たちが気をつけたいこと ○ 身近な危険 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各社のATM利用料金の予測と比較 ・ 利息と金利 ・ 銀行の預金は貸付に使われる。銀行はお金の貸し借りの仲介で利益を得る。 ・ 預金しているのに損してる? ・ ネットバンキングのリスク ・ スキミングの事例 ・ カードの紛失 ・ 印鑑、キャッシュカード、暗証番号の自己管理責任 ・ 預金者保護法について 	<p>ワークシート ATM利用料金 予想クイズ</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 銀行の機能と役割 ○ 金融ビックバン ○ 銀行がもつ責任と社会の中での役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 預金・貸付・決済 ・ 多様な商品が売られるようになった ・ 三井住友銀行4月27日の業務停止命令を実例に 	

授業「銀行と預金」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

・導入は、そもそもお金とは何か、というところから始めた。価値の交換、価値の尺度、価値の保管など。預金者からの預金が黒字主体から赤字主体へ移行されることに銀行業務の基盤があり、銀行と消費者の関わりをその部分から捕らえるような視点を持たせることができた。また、金利や利息については、高校生に身近な話題を具体的に事例の中で利用し、説明をした。

② 反省点や改善策

・対話形式の授業に勤め、指名して回答を得るように心がけた。生徒たちは比較的積極的に授業に参加してくれたが、若干2名の女性とは伏せて寝ていた。まったく興味をもてない子供たちとの対話の難しさを痛感した。

2. 先生からのご意見・助言

・非常に感動したとのほめ言葉をいただいた。担任の参加があってこそ成立したものであり、担任の明るさに助けられた部分も大いにあると思って感謝している。

3. 生徒の反応について

ここには生徒の反応等に加え、アンケートの集計やまとめを記載してください

・大変活発に質問に反応し、さまざまな質問や支持には、全般的に素直に回答してくれたと思う。

経済市民教育テキスト④ クレジットカード I

【授業計画】

テーマ： クレジットと消費者金融の違い

対象： 東京都立高校

場所： 教室

日程： 平成18年 6月19日(月)10時45分～11時35分

ねらい： ①クレジットの意味を理解しよう

②クレジットカードと消費者金融の違いを知ってもらう

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<p>○カードショッピングを体験してみる 生徒に消費者・加盟店・クレジットカード会社の役になってもらいロールプレイをする。</p> <p>①現金で買う ②クレジットで買う</p>	<p>・クレジットの仕組みを理解する</p> <p>・黒板のフリップに矢印をいれ契約の仕組み、お金の流れを理解する</p>	<p>黒板に3枚のカードを貼る</p> <p>カード会社 お店 客</p> <p>生徒は名札をつける</p> <p>店員、客、 クレジット会社</p>
展開 25分	<p>○カードの所有権は誰にあるのか</p> <p>○信用情報機関について (信用情報機関とは何か?)</p> <p>○クレジットカードは買い物も出来るがお金を借りることも出来る。 ・実例を使って金利の実際を知る。 20万円を借りた場合を例に考えてみる。</p>	<p>・カードはカード会社から「信用」に貸与されたものであることを理解する。 ・代金の後払いであることを理解する。</p> <p>・支払いが遅れたりすると、信用情報機関に登録されることを知る、カードの利用が制限されることを知る。</p> <p>クレジットカードのキャッシングと消費者金融で借りた場合の金利はほとんど変わらない。 ・20万円を年利29.2%で借りた時①1年間の利息を計算する ②1ヶ月の利息を計算する 金利を計算できるようにする。</p>	<p>テキスト P16、17</p> <p>テキスト P20 ワーク5-1</p> <p>A君のお兄さんの収入と支出の表を黒板に掲示</p>
まとめ 5分	<p>○多重債務にならないための心得</p> <p>○もしものときの相談先を知っておく</p> <p>○アカウント記入</p>	<p>・計画的な利用が大切である。 ・返せないなら借りないこと</p> <p>・専門機関の紹介</p>	<p>テキスト P21、22</p>

授業「クレジットカードⅠ」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

導入で、店員、客、カード会社という役を生徒にふったことで、この3人が私の質問にも反応してくれて、進めやすくなった。授業全体を膨らませる雰囲気作りには効果があったと思う。実際に借りた場合の利息を計算してみた。クレジットカードも消費者金融もどちらもお金を借りた場合、29.2%に近いと知ると、「タツケ～」と感想があがった。多重債務のキッカケは安易な利用と高金利の借入をしてしまうことであると実感したと思う。

② 反省点や改善策

思ったより時間がなく、もっと考えてもらう予定だったのに、計算のところの答えなど、わたしから答えを言うてしまう感じだった。お金を借りる際の垣根が低くなっていることを伝えなかったが、クレジットと賞品者金融の業態の違いまで説明できなかった。どちらも取り上げたことは無理があり、限られた時間を有効に使うためには、テーマをクレジット一本に絞った方が良かったかもしれない。

2. 先生からのご意見・助言

楽しい授業だったが、クレジットカードと消費者金融の違いがよくわからなかった、とご意見いただきました。

3. 生徒の反応について

ここには生徒の反応等に加え、アンケートの集計やまとめを記載してください

生徒はアルバイトをして実際お金を稼いでおり、自分の収入で物を買うと言う行動は日常であるのだなあと教えられた、それだけに近未来にくるであろうクレジットの問題にも、熱心に聴いてくれる生徒がいた。クレジットの仕組み(三者間契約)をメモにとっている生徒もいた反面、無関心の生徒もいて、全員を惹きつける授業はむずかしいと感じた。アンケートをみると、クレジットの仕組みについてはおおむね理解してもらえたとおもう。実際にクレジットカードを手にとった時に、この日黒板に貼った三角形の図が浮かんでくれれば・・・と願っている。

経済市民教育テキスト⑤ クレジットカードII

【授業計画】

テーマ： 前回のおさらい クレジットとは？

対象： 東京都立高校

場所： 教室

日程： 平成18年7月10日(月)10時45分から11時15分

ねらい： ○クレジットで買い物をすると手数料がかかる時がある。

○クレジットは計画的な利用が大切である。

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<p>前回の復習</p> <p>○高校生がクレジットカードを持っていないのはなぜか？</p> <p>○今持っているポイントカードとの違いは？</p>	<p>収入がないから信用がないだから持てない。</p> <p>ポイントカードにはクレジット機能は付いていない。</p>	<p>テキスト P,16 17</p>
展開 1 15分	<p>○クレジット契約の手数料を考えてみよう。</p> <p>・高額商品を購入するときの実例を元に、分割払いリボ払いの手数料を計算してみる。 (年率15%を例に考えてみる)</p> <p>①年間の利息はいくらになるか</p> <p>②利用限度額一杯まで利用した場合はいくらか</p> <p>○ クレジットカードを利用するときにはどのようなことに注意したらよいか。</p>	<p>クレジットで買い物をすると</p> <p>↓</p> <p>支払い方法によっては手数料がかかることを理解する。 1回、2回はかからない。 3回以上の分割払いとリボ払いの時、手数料がかかる。</p> <p>長期分割、リボ払いで支払い期間が長くなるほど手数料は多く払うことを理解する。</p> <p>収入に見合った買い物なのかよく考えてから利用することが重要である。</p> <p>↓</p> <p>計画的な利用をすることが大切であると理解する。</p>	<p>テキスト P20</p>
まとめ 5分	<p>○クレジットに関する基本的な用語の確認 「おさらいプリントでチェック」</p> <p>○アンケート記入</p>	<p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードは信用 ・他人への貸与は禁物 ・代金の後払い ・支払い方法により多数料がかかる。 <p>以上を知っておく。</p>	<p>おさらいプリント</p> <p>アンケート用紙</p>

授業「クレジットカードII」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

ブランドの靴っていくらくらいするの?と聞いてみたら35000円くらいと答えた生徒がいて、私が用意した45000円のスーツと35000円の靴を分割で買ったら手数料は?という質問がリアルになった。この授業をしていなかったら、カード利用に手数料がかかるということに気付かなかったのではないか。月々の支払額で考えるのではなく、総額で考える、その利息として捉えることを少しわかってくれたのではないかとおもう。

② 反省点や改善策

手数料の計算は短時間に説明するには、むずかしい。分割払いの危険性を説明したかったが、分割払いとは何?というところの説明にも時間がかかり、生徒に気付いてもらうというよりやっぱり私が結論を言ってしまった。今回のように短い授業の場合は、簡単なおさらいプリントのみとしたほうがよかったかもしれない。しかし、多重債務のきっかけとして安易な分割や分割払いの利用が言われている以上、避けては通れなかったと思う。クレジットカードの利用がますます多様化し便利にもなっている反面、わかりにくくなってきている現状があると思う。

2. 先生からのご意見・助言

あとに次の行事が迫っていることもあり特にお話できませんでした。

3. 生徒の反応について

ここには生徒の反応等に加え、アンケートの集計やまとめを記載してください

前回の復習という意味もあり、おさらいクイズは全員よくできていて、自信を持ってくれたように思います。30分ということであつという間でしたので、もう少し感想など聞いてみたかったと思いました。いままで無反応だった女子の中で、まとめクイズの答え合わせをした時に、「わあ～私皆正解!」って隣の生徒にみせている生徒がいたことが驚きでした。無反応1人聞いているのではないのだなあとお伝えられ、次回への教訓になりました。アンケートでもおおむね理解してくれた感じでした。

経済市民教育テキスト⑥ 支え合いの社会保険

【授業計画】

テーマ： 支え合いの社会保険

対象： 東京都立高校 2年生1クラス 17名

場所： 教室

日程： 平成18年6月26日(月)10:45 ~ 11:35

ねらい： ①社会保険の仕組みを理解する ②少子高齢社会における社会保険の現状の把握 ③ 握と展望
③国民一人ひとりの役割を考える

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<p>○50年後へタイムスリップ 65歳になったとき、どんな生活をしているだろう？ (生きがい・健康・経済)</p> <p>↓</p> <p>●社会保障制度の必要性</p> <p>○社会保障制度って何？ ○そもそも何で社会保障制度は必要なの？</p> <p>↓</p>	<p>ライフイベント紹介(事例) ・老後をイメージング</p> <p>●支え合いの制度なのか ということを感じ取る</p>	ワークシート⑧
展開 ↓ 35分	<p>○社会保険の仕組みを理解しよう(概要)</p> <p>↓</p> <p>健康保険、年金保険に絞る</p> <p>○社会保険part①健康保険 病気やけがで病院に行ったとき誰が 医療費を負担しているのだろう？</p> <p>○社会保険part②年金保険 年金保険には加入しなければいけないの？</p> <p>↓</p> <p>●社会保険の現状と展望(平易に)</p> <p>↓</p> <p>○社会保険だけでは十分ではない？ ●自助努力としてどのようなことが できるだろう？</p> <p>○確定拠出年金って何？ ○その他、自助努力にはどのような方法が あるだろう？</p>	<p>・給与明細書から社会保険 を考える</p> <p>・診療費領収書の明細を見て 医療費は誰が支払ってい いるか考える</p> <p>・年金保険の種類を知る 老後保障だけではない年金保険</p> <p>●支え合いの制度であること を再認識する ●自分たちの問題であること を考える</p> <p>●相互扶助の大切さとともに 自分の生活は自分で守る 必要性を考える</p>	<p>テキスト</p> <p>資料①</p> <p>テキスト</p>
まとめ 5分	<p>○各項目をキーワードでまとめ</p>	<p>さあ、あなたは20歳になつたら、国民年金を払いますか？ そのとき、どのような気持ちで 年金のことを考えるでしょう。</p> <p>・ワークシートに記入したことを 実現するには社会保障制度 は不可欠 ●社会保障制度は生活する 上で大切な問題であることを 意識する</p>	<p>テキスト</p> <p>ワークシート</p>

授業「支え合いの社会保険」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

・身近な話題から入り、社会保険の仕組み展開して行った。次の点を参加型授業にしたことにより、より実感できたのではないかと。①生活を送る上でどのようなリスクがあるかシートに記入させた②給与明細書、診療費領収書を利用して社会保険料は誰がどのように負担しているのか考えさせることができた③現状の少子高齢化を実感してもらうため、人口ピラミッドを作成させた。全体の流れのなかで、時折、作業をさせることによって学習効果が高まった。専門的になりがちな社会保険の用語をなるべくわかりやすく説明した。

② 反省点や改善策

年金保険の保険料と受取額の計算をさせれば、より身近に感じられたのではないかと。次回はこの点を踏まえて国民年金の保険料と受取額を試算させてみようと思う。時間の関係で、保険そのものの仕組みやリスクについては、さっと振れるくらいで社会保険の前振りを導入部分に持ってきたほうが良かった。社会保険の現状については、平易に話したつもりだったが、理解しがたい部分もあるので、思い切って割愛しても良かった。

2. 先生からのご意見・助言

年金保険料の計算をさせて、支払い保険料と受取額の差を実感させたらよいのではないかとという助言を受けた。次回、活かすつもりである。

3. 生徒の反応について

ここには生徒の反応等に加え、アンケートの集計やまとめを記載してください

概ね、耳を傾けて理解しようとしていた模様。前の生徒に質問をしたが、結構即答してもらったので、感度はよかった。ただ、「心ここにあらず」の生徒もいたので、上記反省点を踏まえ、もっとシンプルに話す必要がある。全体的には、聞いていないようで聞いている状態だったので、まあ安心した。

経済市民教育テキスト お金の賢い使い方

【授業計画】

テーマ： 自立した経済市民に向けて～お金の賢い使い方

対象： 私立女子中学校 2年生3クラス 125名

場所： 小講堂

日程： 平成18年6月14日(水)13:30～14:30

ねらい：①お金の3つの使いみちを知る。②ものを買うときの意思決定プロセスを身に付ける③予算立て

過程	学習内容・キーワード	学習活動	資料・準備物
導入 10分	<p>○お金ってどういうもの?</p> <p>○なぜ今お金の使い方を学ぶのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を使う経験は長いけど・・・ ・失敗した買い物経験は? ・金欠病で友達に借りたことは? <p>→お金を上手に使うことは案外難しい</p> <p>○始めの一步・・・お金の「賢い」使い方を考えよう</p> <p>○お金の使い方は3つある-3つのSとは</p>	<p>「虎の子」「お足」「先立つものはお金」の意味から考えよう</p> <p>失敗した経験を振り返ろう</p> <p>お金の使いみちを問う→Spend Save, Shareに分ける</p>	<p>テキスト②P.1</p>
展開 40分	<p>○そもそもお金とは労働の対価である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こづかいは誰の労働の対価か <p>○収入=支出が基本</p> <p>○何を買うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少性、トレードオフ、機会費用 ・必要なものと欲しいもの ～広告に踊らされていないか ・収入が減ったとき ～借金なのか、貯金なのか <p>○どう買うか。(意思決定プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い方の選択肢を考える。 ・選択肢のプラス面とマイナス面を考える。 ・借金して買うと、買い物失敗でも支払う必要 ・貯金して買うと、欲しい気持ちを確認できる <p>○貯金して夢に備えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢を支えるにはお金が必要 <p>○シェアの考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギフト、寄付、100円の価値 ・社会保障制度につながる考え方 	<p>こづかいに対する考え方 日米比較</p> <p>欲しいもののフリップの中から 買いたいものを選ぶ(2名)</p> <p>ヴァレンタインのチョコレート例 チョコレートのグラフ</p> <p>たとえば、スノボだったら・・・ ワーク2を配布 各自、記入 2～3名に発表してもらう。</p>	<p>日米アンケート</p> <p>フリップ多数</p> <p>指導書グラフ</p> <p>テキスト②P.2 ワーク2</p>
まとめ 10分	<p>○賢いお金の使い方</p> <p>よく考えてお金を計画的に使う→満足感を得る 勉強の計画を立てるのと同じ</p> <p>○予算を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目を立て、3つのSに分ける ・実は「何を買うか」のワークでやったことと同じ ・金額を決めるためには、1ヶ月の記録が必要 <p>○収支を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの場合は?自分の支出の傾向 <p>○お金の振り回されない人生を送ろう</p>	<p>こづかい帳の活用 予算立て</p>	<p>ワーク ワーク</p>

授業「お金の賢い使い方」の報告・検証

1. 授業の進行について

① 効果的だったところ

・収入=支出となるよう欲しいものに優先順位をつけてやりくりすることを意識づけるために、2名に1万円以内になるようフリップを選択してもらった。他の生徒も、自分ならこうすると話しながら興味を持って見ていた。・さらに収入が半減したら、何をあきらめるか、フリップを減らすことで、自分にとって大切なものがはっきりしてくること、他人とは価値観が違うので支出の中身が異なることを認識させた。・借金すると返済のしかかることもフリップで模式的に説明。
・その後ワークシート②で買い方の選択肢を考えてもらったので、選択肢のプラス面、マイナス面を各自しっかり考えて記入できた。中学生なので「親に買ってもらう」という選択肢を入れた。買うときにも、単にぱっと買ってしまおうのではなくて、いろいろな考え方ができることは分かってもらえたと思われる。

② 反省点や改善策

導入として、よく言われているお金にまつわる言葉「虎の子」「お足」「先立つものはお金」を挙げて、お金の大切さ、すぐになくなりやすいこと、何をすることもお金が必要なことを簡単に触れたところ、この3つの言葉を知っている生徒は皆無だった。先生からも「死語」というご指摘を頂いた。お金に関する戒めの言葉はまったく伝承されていないようだ。生徒にとって、始めに出てきたこれらの言葉が難しかったようだが、感想文を見ると話の全体を通じて理解してくれた生徒も多い。導入ではなくまとめとして利用すれば、効果的だったように思う。

2. 先生からのご意見・助言

「虎の子」「お足」「先立つものはお金」という言葉は生徒の親世代でも使わないのではないかと思います。
フリップで友達が1万円以内で欲しいものを選んでいるとき、他の生徒たちも「私ならこうするわ」と話しながら楽しそうに見ていてとても良かったです。

3. 生徒の反応について

ここには生徒の反応等に加え、アンケートの集計やまとめを記載してください

質問に対する反応が良く、フリップのワークも楽しそうに取り組んでくれたのでスムーズだった。以下は感想・アメリカの子はおこづかいをほとんどの子がもらっていないのと、おこづかいをもらう時は何かお手伝いをしてからもらうということもビックリしました。私もお父さん、お母さんからお金をもらう時は何でもいいからお手伝いをしてからにしたいと思いました。
・私はお金をあまり貯金していませんでしたが、昨日の話を聞き、今月のおこづかいの半分貯金しました!未来の自分のためにもこれから進んで貯金しておこうと思います。
・私が募金したお金で一人の命でも助かったら本当にうれしいことだし、とてもよいことだなと思った。坂根先生のおかげで、お金はとても大切ということ、少しのお金でも人の命を助けられるということが分かってよかったです。
・アメリカの人は得たお金を3つに分けて使っていることも驚きました。「自分で使うお金、将来に使うお金、人々に役立つお金」私はおこづかいはすべてが自分で使っているの、感心しました。これからはこのことを思いながら、お金について考えていきたいと思います。まず先に実行したのがおこづかい帳をつけることです。このノートをつければ買いすぎ防止にもつながると思います。

